

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4 年 6 月 14 日現在

機関番号：12605

研究種目：若手研究

研究期間：2018～2021

課題番号：18K12923

研究課題名（和文）日中における高齢者サービスの現状と課題 医療と連携した在宅養老・介護を中心に

研究課題名（英文）Current situation and issues of elderly services in Japan and China: Focusing on home-based elderly care and long-term care linked to medical care

研究代表者

聶 海松 (Nie, Haisong)

東京農工大学・(連合)農学研究科(研究院)・講師

研究者番号：10626716

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：中国では、未曾有の規模で急速な高齢化が進んでいるが、国の高齢者政策はようやく始動したところであり、空巣高齢者（子供が巣立った後、高齢者だけが残された状態）の増加など、高齢者の養老や介護に関する問題が深刻となっている。日本においても、少子高齢化への対応は喫緊の課題であり、互いの影響が絶大である両国でのリアルタイムな実証調査は社会科学的に重要な意味を持つ。本研究では、日中における医療と養老を連携した高齢者介護サービスの需要実態と課題を明らかにした。さらに政策動向の適合性を検証することにより、日本の経験を参考として中国の国情に適合する高齢者支援のための社会サービス体系の在り方の提言した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

中国では、高齢者介護サービス体系がまだ構築中であり、日本の経験がどこまで中国に参考できるかを念頭に置きながら、日中における量的・質的社会的調査を実施した点に学術的な特色・独創性がある。また実証調査・研究は、リアルタイムな情報として、社会科学的に重要な意味を持つ。同時に、日本の高齢化の先行的経験がアジア論として中国にどこまで参考となるかという点について検証した点に価値がある。さらに、本研究の研究成果は日本の高齢産業が中国市場に投資するにあたっての有力な基礎情報となる。

研究成果の概要（英文）：In China, the population is rapidly aging on an unprecedented scale. However, the national policy for the elderly has just started, and problems related to the care of the elderly, such as the increase in the number of empty-nest elderly (elderly left alone after their children leave the nest), are becoming severe. In Japan, too, dealing with the declining birthrate and aging population is an urgent issue, and real-time empirical research in both countries, which have a tremendous influence on each other, is of great importance from a social scientific perspective. This study clarified the actual demand for and issues related to elderly care services in Japan and China, which are linked to medical care and Senior Living. Furthermore, by examining the compatibility of policy trends, the study proposed a social service system for supporting the elderly that fits China's national circumstances, using Japan's experience as a reference.

研究分野：人口社会学

キーワード：中国 高齢者 介護 医養結合 都市部と農村部 長期介護保険制度

1. 研究開始当初の背景

中国では、2000年に高齢化社会に突入して以来、日本と約30年のタイムラグを置きながら同じスピードで、史上最大規模の急激な高齢化が進展している。高齢化の加速に伴い、「後期高齢者」・「失能高齢者(自立して生活する能力を失った高齢者)」・「慢性病高齢者」・「空巢高齢者(子供が仕事や独立等でいなくなり、高齢者だけが残された状態)」・「無子女高齢者」および「失独高齢者(「一人っ子政策」の下で、ただ一人の子供に先立たれた高齢者)」の人口規模が増えつつあり、こうした高齢者人口構造の内部変動が一層高齢化による厳しさを増している。また、中国では経済発展上において「未富先老(豊かになる前に老いる)」・制度上において「未備先老(老後の準備が整う前に老いる)」といった現象が日ごとに顕著になっており、高齢者は貧困・疾病・老化・高齢者サービス・介護・メンタルケアなどさまざまな面で、困難や問題に直面している。

こうした中、中国では「養老元年」とも称される2013年以降、国家戦略と位置づけられた「医養結合(医療と養老の連携)」政策や長期介護医療保険制度が、試点(モデル地域)において試行されている。政府は「在宅養老90%」・「社区(コミュニティ)養老7%」・「施設養老3%」で構成される社会養老サービス体系の構築を軸に、「90-7-3方式」という目標を実現しようとしているが、実際には地方政府の施策の重点は、より導入しやすい施設入居介護や補助金制度に偏重し、人材不足から箱物施設等で利用率が極端に低いといった実態がみられる。また、一人っ子同士の夫婦が老父母4人と子供を養う「四・二・一」・さらに長寿化のため祖父母も加えた「八・四・二・一」という逆ピラミッド型の扶養パターンに直面し、伝統的な家庭扶養の機能が弱まる中、家庭だけに依らない高齢者介護の社会化の必要性が新たな課題として顕在化している。

こうした背景から、訪問介護や通所介護など様々な在宅介護形態を擁する高齢者サービス産業の振興が急務となっている。しかしながら、未だ国レベルにおいても高齢者政策は模索段階にあると言わざるを得ず、国内外の企業は有望な市場と認識しつつも実質的な投資を控える状態に留まり、学界においても特に高齢者の介護と医療を連携したサービスの需要実態に関する調査研究は不十分である。

2. 研究の目的

本研究の目的は、日中における医療と養老を連携した高齢者介護サービスの需要実態を、実証的な調査研究を通じて明らかにし、政策の有効性を検証、将来への提言を行うことである。さらに、高齢者介護サービス体系の構築のため今日の激動する中国研究への学術的寄与を行いたい。また、中国高齢化社会を事業機会としてとらえる場合、日本の企業を含む中国国内外へ建設性のある提言をしたい。

3. 研究の方法

本研究では、人口社会学の視点からのサンプリングによるインタビュー調査を通じて需要現場の実態を分析した。中国および英国での調査結果の解析は、翻訳時のバイアスを排除する目的で、テキストマイニングなどは一次情報である中国語および英語で行った後、日本語に翻訳した。フィールド調査の時期および対象等は次のとおりである。なお、量的調査結果についてはSPSSなどを使って、地域別、学歴別、経済水準等による集計分析を行った。

年度	調査地	調査対象	調査内容
H30	都市部(北京・上海)と農村部(河北省・寧夏自治区)	長期介護保険の対象者	長期介護保険のサービスの利用状況と需要実態等
		介護労働者	介護労働者からみた職場の取り組み状況及び仕事に対する満足度等
	東京都日野市	長期介護保険の利用者	長期介護保険制度の利用状況と需要実態等
		介護労働者	介護労働者からみた職場の取り組み状況及び仕事に対する満足度等
H31	中国北京・杭州、常州	介護予防なども考慮し、50歳以上人口を対象者	生活支援サービス・介護予防医療と介護の連携したサービスの利用実態
		医療従事者と介護	在宅医療連携の組み状況及び仕事

		関係者	に対する満足度等
東京都日野市		介護サービス提供者、ボランティア	施設実態調査
		地域包括支援センターケアマネージャー	ケアマネジメント支援業務に関する調査
		65 歳以上の単独世帯や夫婦のみの世帯を対象	医療と介護の連携したサービスの利用状況と需要実態
神奈川県横浜市		65 歳以上の単独世帯や夫婦のみの世帯を対象	医療と介護の連携したサービスの利用状況と需要実態
		介護労働者	介護労働者からみた職場の取り組み状況及び仕事に対する満足度等
米国ワシントン DC、ほか		クリニック病院、企業	高齢者の健康予防の取り組みに関する調査
R2~R3	<p>・オンラインにて国内外の専門家と学術交流を行い情報収集し、これまでの日中における研究調査データの分析および総括</p> <p>・中国人民大学と中国高齢者社会追跡調査データ China Longitudinal Social Survey (CLASS)の二次利用に関する利用契約の締結、分析</p>		

#### 4. 研究成果

##### (1) 長期介護保険制度の利用状況と需要実態

中国において、都市部（北京・上海）と農村部（河北省・寧夏自治区）における高齢化社会への対策に関するフィールド調査を実施し、長期介護保険サービスの利用状況と需要実態等に関する調査、介護労働者からみた職場の取り組み状況及び仕事に対する満足度等に関するインタビュー調査を実施した。成果発表として、学会の招待講演1回、さらに日中の比較について、10月に学会発表2回（うち国際1回）を行った。欧州英文雑誌の執筆も依頼され提出した。

日本においては、東京都及び環境未来都市・横浜で超高齢化社会への対策に関するフィールド調査を実施し、長期介護保険の利用者を対象に長期介護保険制度の利用状況と需要実態等に関するインタビュー調査、介護労働者を対象に介護労働者からみた職場の取り組み状況及び仕事に対する満足度等に関するインタビュー調査を実施した。その研究成果として国際学会発表1回、国際学術論文1本がある。

##### (2) 医療と介護の連携したサービスの利用状況と需要実態

中国北京・杭州、常州では医養結合政策に関連する高齢産業の病院・養老施設・企業などを訪問し、生活支援サービス・介護予防医療と介護の連携したサービスの利用実態に関する調査、医療従事者と介護関係者を対象に在宅医療連携の組み状況及び仕事に対する満足度等に関するインタビュー調査を実施した。

日本では、神奈川県および東京都を調査地として、65歳以上の単独世帯や夫婦のみの世帯を対象に医療と介護の連携したサービスの利用状況と需要実態に関する調査、介護労働者を対象に介護労働者からみた職場の取り組み状況及び仕事に対する満足度等に関するインタビュー調査を実施した。また、日中の参考とするため、高齢者の健康予防にどのような取り組みが行われているのかについて、米国のクリニック病院と企業を訪問し、その実態調査を行った。

研究成果として、国際学会会議の招待講演2回、国内学会招待講演1回、さらに論文発表について、中国の登峰戦略系列研究成果として2本、欧州英文雑誌論文1本、国際論文集1本の計3本の成果を挙げた。2人の指導学生が本研究課題に関して学会発表を行った。

##### (3) 政策と現場実態の比較検証

政策動向の適合性を検証することにより、日本の経験を参考として中国の国情に適合する高齢者支援のための社会サービス体系の在り方を提言した。主な研究成果として、国際学会発表1

回、日本国内学会発表2回、さらに論文発表について、日本国内学会雑誌1本（「中国における高齢化対策の現状と課題」）、中国雑誌論文2本（「日本における地域包括ケアシステムの発展と改革」、「人口高齢化が日本のサービス産業に与える影響分析」）、国際論文集1本（「COVID-19における日本の社会保障システムの対応」）の計4本の成果を挙げ、国内外に発信してきた。2人の指導学生が本研究課題に関して「中国農村部と都市部における高齢者の生活満足度及び影響要因に関する比較研究」などについて学会発表を行った。

#### （4）国際シンポジウムの開催および本研究の位置づけ

平成31年には日中社会学会大会において国際シンポジウムを開催し、両国における国家戦略と現場実態を報告、議論した。

中国では、近年、人口の高齢化および高齢者人口の動向に関する研究が盛んに行われているが、これらの研究は中国社会の高齢化や高齢者人口に関する社会問題を中心とした研究に留まっており、国が掲げる「在宅養老90%」という目標に合致した介護サービスの需要実態や、政策の有効性に関する調査研究についてはほとんど行われていない。日本においても、今後中長期の課題として、政治舞台においても少子高齢化が国難として位置付けられる程、深刻さは増しており、まさに逃げ場よりも生き道を探っている時期にある。介護の環境整備において数歩先を行く日本と、産官学において養老サービス体系作りがほぼゼロからスタートといっても過言ではない起動期にある中国の、両国において量的・質的実証調査を実施する本研究は、リアルタイムな情報として、日中両社会にとって社会科学的に重要な意味を持ったといえる。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計12件（うち査読付論文 9件 / うち国際共著 7件 / うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 聶海松, 楊非凡	4. 巻 第二シリーズ
2. 論文標題 人口高齢化が日本のサービス産業に与える影響分析	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本経済研究(中国)	6. 最初と最後の頁 241-251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 聶海松, 馮文猛, 許文来, 楊非凡	4. 巻 無
2. 論文標題 日本における地域包括ケアシステムの発展と改革	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本経済藍皮書: 日本経済と中日経貿関係研究報告	6. 最初と最後の頁 326-344
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 馮文猛, 聶海松	4. 巻 27
2. 論文標題 中国における高齢化対策の現状と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日中社会学研究	6. 最初と最後の頁 12-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 楊非凡, 孔擎暉, 聶海松	4. 巻 無
2. 論文標題 COVID-19における日本の社会保障システムの対応	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 全国日本経済学会2020年大会論文集	6. 最初と最後の頁 121-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 馮 文猛、聶 海松	4. 巻 無
2. 論文標題 人口高齢化的中日比較分析（日中における人口高齢化に関する比較分析）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 少子高齢化社会：中国日本共同対応的路径与未来	6. 最初と最後の頁 122-136
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 楊 非凡、聶 海松	4. 巻 無
2. 論文標題 日本地域総合照護系統对我国应对高齢化的啓示（日本の包括的高齢者ケアシステムが中国の高齢化対策に与える示唆）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日中康養産業発展与合作国際學術検討會論文集	6. 最初と最後の頁 49-54
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 馮 文猛、聶 海松	4. 巻 無
2. 論文標題 平成時期日本の人口問題（平成時期における日本の人口問題）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 平成日本社会問題解析	6. 最初と最後の頁 27-44
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Feifan Yang, Dawei Gao, Haisong Nie	4. 巻 無
2. 論文標題 Research on the development of the elderly care policies in China	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Between Successful and Unsuccessful Aging: Selected Aspects and Contexts	6. 最初と最後の頁 121-142
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.24917/978839573	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Takeyasu Marina, Nie Haisong, Gao Dawei, Chen Chuangbin	4. 巻 6
2. 論文標題 Local Action for Realizing Sustainable Society: A Survey of Japanese "Futurecity" Initiative	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Agriculture System	6. 最初と最後の頁 130 ~ 137
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20956/ijas.v6i2.394	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yang, F., Gao, D., Nie, H.,	4. 巻 -
2. 論文標題 Research on the development of the elderly care policies in China	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Czech-Polish-Slovak Studies in Andragogy and Social Gerontology (Frontiers Media S.A.)	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 轟海松	4. 巻 2
2. 論文標題 中国におけるシルバー産業の現状と動向	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 女性研究者シーズ集 (一般社団法人首都圏産業活性化協会)	6. 最初と最後の頁 61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楊非凡, 轟海松	4. 巻 253
2. 論文標題 日中における高齢者サービスの現状と課題 医療と連携した在宅養老・介護を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 研究通信	6. 最初と最後の頁 12-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計13件（うち招待講演 6件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 楊非凡, 孔擎噉, 聶海松
2. 発表標題 COVID-19における日本の社会保障システムの対応
3. 学会等名 全国日本經濟学会（中国）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 孔擎噉, 楊非凡, 聶海松
2. 発表標題 中国農村部における高齢者の生活満足度及び影響要因に関する研究
3. 学会等名 共生社会システム学会2020年度大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 孔擎噉, 楊非凡
2. 発表標題 中国農村部と都市部における高齢者の生活満足度及び影響要因に関する比較研究
3. 学会等名 日中社会学会2020年度大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 馮文猛、聶海松
2. 発表標題 中国における高齢化社会対策の現状 と課題
3. 学会等名 日中社会学会開催校シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 聶海松
2. 発表標題 中国における高齢者サービスの現状と課題 医療と連携した在宅養老・介護を中心に
3. 学会等名 日中社会学会開催校シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 楊非凡、聶海松
2. 発表標題 日本地域総合照護系統对我国应对高齢化的啓示（日本の包括的高齢者ケアシステムが中国の高齢化対策に与える示唆）
3. 学会等名 中国日本経済学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 聶海松、楊非凡
2. 発表標題 日本社会保障体系对老年人生活方式的影響
3. 学会等名 生活方式と美好生活建構国際シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yang Feifan , Hao Ruofan
2. 発表標題 Research on the China's elderly care system : Referring to the Community-based integrated care system in Japan
3. 学会等名 日中社会学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takeyasu, M., Nie, H., Gao, D., Chen, C.
2. 発表標題 Local Action for Realizing Sustainable Society: A Survey of Japanese "Futurecity" Initiative
3. 学会等名 The 6th International Conference of Asian Rural Sociology Association (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 轟海松
2. 発表標題 中国における人口政策の転換と効果及び高齢化への対応
3. 学会等名 日中社会学会学会企画シンポジウム「中国の人口政策の転換と社会問題」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yang, F., Nie, H.,
2. 発表標題 Transition and effect of population policy & Development path of combined medical and care services in China
3. 学会等名 The Association for Kyosei Studies
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 楊非凡, 轟海松
2. 発表標題 日中における高齢者サービスの現状と課題 医療と連携した在宅養老・介護を中心に
3. 学会等名 日本村落研究学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 轟海松
2. 発表標題 中国におけるシルバー産業の現状と動向
3. 学会等名 文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)(招待講演)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 「日中における高齢化への対応 国家戦略と実態」	開催年 2019年～2019年
-----------------------------------	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------